

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

# SAKURA

Since 2013



Vol.35  
5・6月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



パパ・ママ・キッズに  
『こどもじゅず』でエールを!!

== INDEX ==

Pick Up Artist

**ROCO (女性シンガーソングライター)**

**若林 頤 (ピアニスト)**

**松崎 夏美 (ソプラノ) /  
マルティン・ヴィドラー (テノール)**

さくらプラザ 自主事業レポート

ピアノグランプリ 2019

アートバザール 2019

第3回 とつかソングコンテスト

連載

男は背中で物語る 戸塚見返親仁  
出張! 戸塚新聞



## 女性シンガーソングライター

ロコ  
ROCO

～「こどもじゅず」はみんなをハッピーにする!～

誰もが1度は見たことのある有名TV番組「おかあさんといっしょ」において自身の楽曲『おひさまーち』を提供し、全国の子ども達はもちろん、ママ達の心もつかんでいるROCOさん。子どもも大人も楽しめる音楽をやりたいと思い、「こどもじゅず」を作ったというROCOさんの公演はいつも笑顔の親子でいっぱいです。

そんなROCOさんにさくらプラザの公演に向けて、また、おふたりのお子さんを持つママとして、そして精力的な音楽活動のエネルギーはどこから湧いてくるのか、など、たくさんお話を伺ってきました!



—ジャズを広く受け入れられるようにポップ調にアレンジした『おもちゃじゅず』からさらに童謡を『おもちゃじゅず』にアレンジした『こどもじゅず』というような他にないジャンルにたどり着くまでのROCOさんの音楽のルーツを教えてください。

**ROCO(以下省略):**

子どもの頃はテレビで流れているようなアイドルの歌が大好きで、ポップスやロックをよく聴いていました。好きすぎて、高校生の頃はロックバンドを組んでいました。エレキギターをガガガー!って(笑)。それと同じくらいにジャズもその頃好きになつたんです。でも初めはジャズというジャンルを知らなかつたんです。兄がクリスマスにCDを買ってってくれて「これすごくいいから聴いてみなよ。」と言われて聴いたのがジャズのクリスマスソング集だったんです。フランク・シナトラ(\*1)、エラ・フィッツジェラルド(\*2)などが入っているものでした。初めて聴いたときは、こんな楽しい音楽ってあるんだ!!と思いましたね。笑顔で歌っていて、歌手自身が心から楽しんでいるような音楽はそれまでに聴いたことがなかったので、「楽しい」という感情で人を感動させられるってすごいなと思い、そこからジャズを聴くようになりました。

ポップスもロックもジャズも聴いて、さあ私も曲を作るぞ!となつたときに、うーん、エイトビートは好きだけれど、私はこれじゃないなと思ったんです。自分の中で1番しつくりきたのが跳ねるような、スwingのリズムでした。そこで、メロディーはポップスでリズムをスwingさせてみたり、コード(\*3)を変えてみよういろいろなことを試していくて、『おもちゃじゅず』ができました。

『おもちゃじゅず』はいわゆる、大人がお酒を片手に楽しむジャズではなくて、大人も子どもも一緒に楽しめるようなジャズなんです。そこからさらにもっと子ども達にジャズを楽しんでもらいたいと思い、子どものころから好きだった童謡をジャズにアレンジして『こどもじゅず』というスタイルを創ってみました。

—ROCOさんの音楽やライブ映像は『カラフル』で『ポップ』なイメージがまず1番印象に残っています。曲やステージを作るときのROCOさんのこだわりを教えてください。

「日常にあるメルヘン」が私のテーマです。日常なのだけれど、あれ?なんかおかしいぞ?みたいな感じです(笑)。見方を変えるとすごく楽しかったり、不思議だったり……。なので、曲も舞台の装飾などもそんな風に作りたいと思っています。私の頭のなかのイメージをそのまま表していますね。その日の気分だったり、コンセプトは公演ごとに変わったりもしますが、根本的なところは変わらず、「日常にあるメルヘン」。これが『こだわり』です!

戸塚公演も楽しみにしていてくださいね!

—衣装や舞台の装飾なども制作されていると伺いました。

そうなんです。すべてにおいてアイディアを出したり、作ったりしています。私の母が手芸や工作が得意で、一緒に作ってくれるんです。衣装の帽子ひとつ作るのもおもしろくて!小物入れをかぶりたいな、と思うと、丁度よさそうなカゴやケースに飾りを付けてヘッドドレスにしてしまったり(笑)。何気ない、どこにでもあるようなものをいろいろなものに作り変えています。



\*1 フランク・シナトラ

…アメリカ合衆国の著名なエンターテイナー、ポピュラー歌手、ジャズ歌手、俳優

\*2 エラ・フィッツジェラルド

…アメリカ合衆国のジャズ・シンガー。

\*3 コード

…和音



—ROCOさんは「ママ」でもありますよね。「おひさまーち」は全国の子ども達、ママ、パパ達が知っている曲だと思いますが、どんな想いで作られたのですか?

また、ママになる前と後で、音楽に変化はありましたか?

この曲は4月のテーマ曲なんですけど、4月は子ども達にとっても、保育園、幼稚園、小学校に進学したりして、新しく環境が変わる時期ですよね。きっとみんなドキドキしていると思ったんです。そんな子達を元気に送り出したいと思って作りました。朝からマーチしながら学校に行けますように、という願いもこもっています。その頃、私の息子が2歳で毎日一緒に公園に出掛けっていたので、その時の様子などが歌詞に盛り込まれていたりします。

ママになってからの音楽に対する変化は自分でもとてもよく感じます。まだ自分に子どもがいなかった時は、どうしたら子ども達に楽しんでもらえるのだろう、ということを常に考えながら曲を作っていたんです。でも出産して毎日を子どもと過ごすようになってからは「子どもも大人も何も関係ないんだ!」と思うようになりました。子どもも大人もひとりの人間として何事も楽しんだりしているということに気がついたんです。親が楽しんでいることは子どもも楽しんでくれたりするんですね。気がついたときは本当に力が抜けました。楽しんでもらうことを考えるのではなくて、自分が舞台で楽しい音楽を演奏して、それを会場の子ども達も楽しんでくれたらいいな、というように考え方が変わっていきました。あとは、子ども達だけでなく、お母さん達の気持ちが分かるようになったので、ライブでも「お母さん!今日も頑張ろうね!」という気持ちで歌っています。なので、「めちゃくちゃ楽しみました!」とライブの後にお母さん達から声を掛けてもらえるとすごく嬉しいですね!また、涙を流されている方が舞台から見えたりもするんです。それも嬉しいというか、今日ここ



でライブして良かった!と思いますね。もちろん子ども達の反応も励みになります。ここでこう言ったら、みんなはなんて応えてくれるかな、なんていつもドキドキしているんですけど、ストレートな反応も、予想外の反応も、どちらも素直で嬉しいです。

—やはり、ROCOさんの原動力はなんでしょうか?

やはり、ライブをしていて、お客様達の活き活きした顔を見ると自分が泣いやうになるくらい嬉しくなるんです。そこが原動力ですね。そしてまた次の公演でもそうなれるような公演にするぞ!という良い循環が生まれるんです。

—戸塚の公演で楽しみにしていること、また、お客様にメッセージをお願いします。

親と子どもが一緒に同じものを共有する時間というのは子どもが成長するにつれて少なくなっていくと思うんです。なので今だからこそ一緒に楽しめるこの時間はとても大切な時間だと思います。そんな貴重な機会を初めて訪れる町で、初めてお会いするお客様と一緒に過ごせることが楽しめます。

戸塚の子ども達、パパ、ママ、いろんなことがある日常を忘れて、7月20日はとにかく楽しんで、家族で一生に残る思い出を作りましょう!会場で待っています!!

(取材・構成:山上由布子)



**ROCO**

11.22生まれ 女性シンガーソングライター。2004年発売の1stアルバム「コミカルライフ」が好セールスを記録。10年に童謡を“JAZZ”にアレンジしたCD「こどもじゅず」をリリースし、全国の小さなお子さんもつお母さんたちを中心にクチコミが広がり、某雑貨屋を中心の大ヒット。14年にはH ZETTRIOとのユニット「chazz」(チャズ)を立ち上げ、15年には、NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」において楽曲「おひさまーち」を提供。16年にはROCOole(ロコオーレ)～ロコがうたうウクレレともだちソング～をキングレコードよりリリース。自身も二児の母となり、現在は全国各地でのLIVE活動を中心に、YOUTUBEにて「OH!ROCOMAKKI!(オーロコマッキー)」動画配信、楽曲提供、CMソングの歌唱や番組ナビゲーターなど幅広い活動をしている。



有隣堂 戸塚モディ店 児童書コーナーにて  
ROCOさんのCDを好評販売中!

※7月まで(期間限定)

ROCO  
こどもじゅず

2019年7月20日(土)  
【第1回】11:00開演  
【第2回】14:30開演



\*詳細は裏表紙をご覧ください。

ピアニスト  
わかばやし あきら  
**若林 頸**  
～さくらプラザで毎回ショパンのフルコースを……!～

3年にわたり15回開催されているピアニスト 若林頸さんによるショパン全ピアノ作品シリーズ。ショパン没後170年という記念イヤーである2019年はシリーズ2年目に突入します。ショパンに対する想いと、このシリーズに対する若林さんの想いを語っていました!

—3年間の15回シリーズ、すべてのプログラムがすでに決まっています。若林さんのプログラミングは作品番号順でも、曲集に分かれているわけでもなく、15回の公演の中にはいろんな作品が散りばめられています。これはどのようなお考えで組まれているのですか？

**若林 頸(以下省略):**各プログラム、マズルカやポロネーズといった民族的なものに基づいた作品を必ず入れる、いうことがまず1つですね。また、ノクターン、プレリュード、ソナタ、ワルツ、バラードなど、いろいろな種類がショパンの作品にはありますが、公演ごとに同じ種類でまとめてしまうより、すべてのキャラクターが良いバランスでプログラムに入るように組んでみました。その方がさくらプラザのお客様に、毎回ショパンのフルコースを聴いていただくことができます。1番意識したのはこの点ですね。また、シリーズ最後のVol.15のプログラムには、「チェロ・ソナタ」と「幻想ポロネーズ」を入れました。「チェロ・ソナタ」に関してはショパンがパリで演奏した最後の曲と言われています。このような史実を意識したりもしています。

—各公演にタイトルがついていますね。このタイトルを見て興味を持ってくださる方も多いいらっしゃると思うのですが、若林さんはどのような想いでタイトルを付けたのですか？

タイトルがすべてを語っているわけではないのですが、プログラムの中の特徴的な曲をピックアップしてそこからタイトルを付けていました。ですので、2月(※2019年2月8日に開催された同シリーズVol.5)の公演はまさにそうですね。『ショパンの墓前で、愛の記憶の中で』というタイトルで、葬送行進曲とピアノ・ソナタ 第2番「葬送」を演奏しました。どの公演もそのような傾向がみられるかと思います。



2019年2月8日(金)  
シリーズ Vol.5『ショパンの墓前で、愛の記憶の中で』演奏の様子



次回の5月公演「愛するピアノだけではなく」というのは、そのままの意味なんです。ショパンはピアノ・ソロ以外の曲も書いていて、数少ないですがどれも非常に重要で、意味深いものです。プログラムにあるピアノ三重奏曲もそうですね。演奏されることが少ない曲目だと思いますが、聴いてみるとやはりとても聴きごたえのある曲です。共演するチェロの安田謙一郎さんは本当に名手で巨匠です。以前に何度か共演させていただいたことがあるのですが、今回は25ぶりくらいの共演で、私自身とても嬉しく、楽しみです。ヴァイオリンには鈴木理恵子さんを迎えて、ピアノ・ソロだけではないショパンを聴いていただきたいと思っております。そういった意味でも「愛するピアノだけではなく」というタイトルになっています。

—7月の公演では連弾もございますね。共演のマツ・ヤンソンさんはどのような方ですか？

マツ・ヤンソンさんは1985年から同じ門下生であり、私の親友でもあります。とても知的で、音楽だけにとどまらずあらゆる知識を持っています。本当に驚くべきことは、彼に知らない曲はないと言っても過言ではないところ！音楽史などにおいても音楽辞典みたいなんですよ。ある種の特殊能力ですよね。ですが、それが理屈で終わらないところがまた素晴らしいのです。その知識すべてを実際に音楽に結びつけて演奏表現してくれます。彼とは何度も共演していますが、とても尊敬している音楽家です。

—シリーズ1年目はいかがでしたか？回を重ねるごとに何かショパンに対する関わり方に変化はありましたか？

そうですね、私がショパンすごく大事に考えているのは、やはりメロディーの美しさなんです。それと同時にハーモニーの色合いやうつろい、他声部の動きやニュアンスが一体となって聴き手に届く、というのが1番大切です。

そのメロディーに対しての和声、リズムの関わりが構築されていくって初めて立体的な、しかもメロディックな色彩感を持つた曲になる。これこそがショパンの醍醐味だと思います。他の作曲家もメロディー・ラインという点で同じですがショパンは特にそうですね。たとえばベートーヴェンを演奏するときとはまた別の感覚です。何度も試行錯誤しながら、メロディーをいかに浮き立たせるか、そのための和声、リズムは何がベストなのか、など、いろいろにコンビネーションさせていき、ショパンの感じた香りや見たもののイメージ、フランス的な色彩感などのエッセンスを加えながら、聴いてくださる方が楽しんでいただけるような、説得力のある濃い内容の演奏をいつも目指しています。ショパンを演奏するにあたり大切にしていることは変わりませんが、回を重ねながら、より良いアプローチをショパン作品に対して研究しているという点では毎回変化があるのかと思います。

—弾き手として、また、聴き手として「ショパン」という人の、そして作品の魅力はどのようなところにありますか？

ショパンはメロディーが優しく甘いからといって、決してセンティメンタルなものではありません。彼はとても自分に潔癖であり、厳しい人間でした。それでいて純粋な心の持ち主です。ショパンの作品では濁りがないようなペダリングが大事だと考えています。そして、ショパンは最後の最後まで楽譜に手を入れ、納得がいくまで直す作曲家でした。細かいところまで念を入れて想いを残している。そういう徹底した姿勢というか、芯の強さが作品にある。弾き手としても、聴き手としても、ショパンの魅力というのはここにあるのだと思います。

—2019年はショパン没後170年という記念イヤーでもありますね。そんな中、さくらプラザでのショパンシリーズは2年目を迎えます。公演に向けて意気込みと、お客様へメッセージをお願いします！

毎回たくさんのお客様にいらしていただき嬉しく思っています。シリーズ2年目になりますが1年目にも増して、さらに自分の描くショパンの芸術に近づけるような渾身の演奏をお聴かせできればと思います。どのコンサートもショバ

ンのあらゆる魅力を一晩で楽しんでいただける内容になっています。演奏を聴いたままをそのまま感じて楽しんでいただけることが何より素晴らしい事です。ぜひお越しいただき、ショパンの美しい音楽を楽しんでいただけたらと思います。

(取材・構成：山上由布子)



©Wataru NISHIDA

**若林 頸(ピアノ) Akira Wakabayashi**

日本を代表するヴィルトゥオーゾ・ピアニスト。17歳で日本音楽コンクール第2位。東京藝術大学で田村宏氏、ザルツブルク・モーツアルテウムとベルリン芸術大学院にてハンス・ライグラフ氏に師事。1985年ブゾーニ国際ピアノコンクール第2位、1987年エリーザベト王妃国際コンクール第2位受賞。2002年カーネギーホール／ワイル・リサイタル・ホールでのリサイタル・デビューを果たし、その後もフランスの「ラ・フォル・ジュルネ」音楽祭などで成功を収める。ベルリン響、サンクトペテルブルク響などにソリストとして招かれるほか、室内楽ではK.ライスター、ライブツィヒ弦楽四重奏団と共に演奏するなど幅広く活躍。CDはチャイコフスキイのピアノ協奏曲第1番、独奏作品、室内楽曲作品など多数リリースしている。1992年出光音楽賞、1998年モービル音楽賞奨励賞、2004年ホテルオークラ音楽賞を受賞。最新CDは、「ショパン：エチュード集(全曲)」(オクタヴィア「レコード芸術」誌特選盤)。

東京音楽大学・大学院客員教授、桐朋学園大学・大学院特任教授、国立音楽大学・大学院招聘教授等。

■オフィシャルホームページ

<http://www.wakabayashi-akira.com/>



**若林 頸セルフプロデュース ショパン：全ピアノ作品シリーズ  
ショパンを巡る旅 2018-2020 《全15回》**

- Vol.6 2019年5月10日(金) 『愛するピアノだけではなく』
  - Vol.7 2019年7月5日(金) 『こうして始まった』
  - Vol.8 2019年9月20日(金) 『ヴァルデモッサのカルトゥハ修道院からの便り』
  - Vol.9 2019年11月29日(金) 『祖国ポーランドよ、永遠に』
  - Vol.10 2020年1月31日(金) 『オペラから生まれたヴィルトゥオジティ』
- 各回19:30開演

\*詳細は裏表紙をご覧ください。



Pick Up Artist (3) 松崎 夏美 & マルティン・ヴィドラ

ソプラノ まつさき なつみ  
テノール なつみ

~歌うことは『話すこと』~

情報誌『SAKURA』にて、2018年5月～2019年3月まで「チェコ声楽留学奮闘記」連載コーナーを担当してくださったソプラノの松崎夏美さんがこの夏日本に一時帰国をされ、テノール歌手のマルティン・ヴィドラさんと、さくらプラザ 名曲サロン シリーズでデュオ コンサートを開催することとなりました。コンサートに向けて、チェコにいらっしゃるおふたりにメールインタビューをいたしました。

—松崎さんに伺います。全6回の連載コーナー、お疲れさまでした。松崎さんの歌声を聞くことができますね！コンサートに向けて、どのようなお気持ちですか？

**松崎夏美(以下、松崎)：**本当に嬉しく光栄に思っています。私の留学生活を支えてくれている大切な友人、かつ生糸のチェコ人であるマルティンとともに、自分が惚れ込んだ国の音楽と、もともと大好きな日本の歌とをお届けできるなんて、まさに夢のようです。それの音楽が持つ魅力を、そしてその“違い”と交わりを楽しんでいただけるよう頑張ります。



—お互いの出会った頃の印象と、現在の印象をお教えください。

**マルティン・ヴィドラ(以下、M. ヴィドラ)：**最初は小さくてシャイな女の子だと思った。でも知れば知るほどとてもフレンドリーで、ヨーロッパ的な人であることに気付いたんだ。すぐに仲良くなって、1年も経つ頃にはずっと昔からの友人みたいになっていたよ。

布拉ハ国立博物館の前にて

**松崎：**第一印象は背が高く、とにかく優しくフレンドリー！ 当時チェコ語ができず周囲と馴染めなかつた私にとって、いつも気さくに話しかけてもらえたことがどれほど嬉しかったか…。仲良くなるにつれて、ものすごく頭が良く、多彩な才能があり、第一印象よりさらに100倍嬉しいことに驚かされました。毎日のように寮で一緒にご飯を作っていたので、まさに同じ釜の飯を食べた仲ですね(笑)。彼がいなければ、今頃私はチェコにいらっしゃなかつたと思います。



2005年「愛・地球博」にて(右端 M. ヴィドラ)

好評発売中

名曲サロン Vol.20  
ソプラノ 松崎夏美 & テノール マルティン・ヴィドラデュオコンサート

2019年8月22日(木)【第1回】11:30開演／【第2回】14:30開演

\*詳細は裏表紙をご覧ください。

(取材・構成:山上由布子)



# ピアノグランプリ 2019

2019年  
3月3日(日)開催

本選会場:さくらプラザ・ホール

搖さぶれ!魂のピアノ!

～人生の深淵から溢れだす音楽の力～

第4回目となる『ピアノグランプリ 2019』。

横浜から世界へ、音楽の力を伝え、新たな才能と出逢う30歳以上限定のピアノオーディションです。全15団体により構成された「ピアノグランプリ 2019 実行委員会」が地域文化の活性化及び世界の音楽文化への貢献を目的として開催しました。

今回の予選参加者は45組。実行委員会による審査の結果、17組のピアニストたちが本選へ進みました。そして本選での厳正なる審査の結果、今回はグランプリ該当なし、優秀賞3名、審査員特別賞2名の方々が栄えある賞を受賞されました。

## グランプリ：該当者なし



優秀賞

澤井 夏海さん

♪演奏曲：  
セサル・カマルゴ・マリアーノ／  
CURUMIM (クルミン)

【コメント】

私はブラジル音楽を長く演奏してきたので、ピアノグランプリでも自分が尊敬するブラジル人ピアニストの曲を選びました。今回こうして長年取り組んできたことが認められ、このような賞をいただけて本当にうれしい気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後もブラジル音楽の魅力をお伝えできるような演奏を続けていきたいと思います。



優秀賞

藤田 祥子さん

♪演奏曲：  
C. ドビュッシー／  
映像 第1集より「水の反映」「運動」

【コメント】

響きの素敵なさくらプラザ・ホールで演奏できましたこと、また、楽器、ジャンルの異なる5名の審査員の皆さんに演奏を聴いていただきながら勉強になりました。優秀賞という賞をいただけて、また受賞記念演奏会にて演奏させていただけることが今から楽しみです。



優秀賞

稻島 早織さん  
大石 真裕さん

♪演奏曲：  
A. ローゼンブラット／  
2つのロシアの主題による小協奏曲

【コメント】

今回、ピアソロも連弾も同じカテゴリーで評価されるという珍しいオーディションだったのですが、その中で、ソロとは違う、連弾の楽しさを伝えられるようなプログラムを選んだことに評価をいただけたことで、素晴らしい達成感を得ることができ、自分たちにとって実りあるオーディションでした。受賞者記念演奏会でも多くの方に連弾、アンサンブルの魅力を伝えられたらと思っております。



審査員特別賞

飯島 まゆみさん

♪演奏曲：  
平井 康三郎／幻想曲「さくらさくら」

【コメント】

30年ほど日本歌曲の伴奏をしてまいりました。今回はその経験を活かして平井康三郎さんの幻想曲「さくらさくら」を演奏いたしました。審査員特別賞をいただけてとても嬉しく思っております。



審査員特別賞

榎 京子さん

♪演奏曲：  
F. ショパン／  
ピアノソナタ 第3番 第1楽章

【コメント】

暫く公開の場での演奏から遠ざかっていましたが、子育て終了と共にまた演奏したいと考えるようになりました。この度、賞をいただき、11月に演奏する機会を与えてくださいましたことに感謝しつつ、精進して参りたいと思います。

## 速報！

ピアノグランプリ受賞者5組が  
出演する記念演奏会を開催します！

2019年11月23日(土)14:00 開演

※公演の詳細は9月頃公開予定です。

※日程は変更になる場合もございます。



# 戸塚区民文化センター さくらプラザ アートバザール 2019

2019年  
2月14日～16日開催

全館を使い、市内で活動されている方を  
演奏や展示で紹介しました。

今回で4度目の開催となったアートバザール。3日間の来場者数は延べ2,000人！多くの方に足をお運びいただきました。  
ご来場いただいた皆さま、そして出演・出展いただいた皆さま、本当にありがとうございました。  
当日の様子を写真で紹介いたします！

## 4F ホール



フルートデュオ  
(生明麻衣子・向井理絵)  
♪クライスター：愛の喜び 他



ベンティ シエテ ビエルネス  
♪カリスティア 他



ガズレレ横濱オールスターズ  
♪見上げてごらん夜の星を 他



ミュージックブーケ  
♪鞠と殿さま 他



早渕 綾香(ヴァイオリン)・松岡 百合音(ヴィオラ)・白川 優希(ピアノ)  
♪エルガー：愛の挨拶、ドヴォルザーク：ソナチネ Op.100 第1楽章 他



吉府 充希子(ソプラノ)、新津 耕平(テノール)  
片野 敦子(ピアノ)  
♪プッチーニ：蝶々夫人の二重唱、ブランク：愛の小径 他

## 4F ホール前 さくらプラザマルシェ



今年は5店舗が出店！  
さくらプラザスタッフも休憩中お買い物を楽しみました♪



横浜YMCAワークサポート  
センター・パン工房 アンジュ



BAD ASS COFFEE 戸塚店  
(バッド アス コーヒー)



米粉焼き菓子のお店  
HupiHupi(ヒュビヒュビ)



タイシルクハウス



Cane(ケイン) の八百屋さん

## 3F ギャラリー



戸塚アート

水彩画



アート・先生とみんなの会

トールペイント、編み物 等



アートクラール

デコパージュ、  
ワンストローク ペインティング



大谷 和一

絵画、絵ハガキ



舞岡スケッチクラブ

絵画



パンアートの花

粘土で作ったお花やミニフルーツ、野菜 等



マルシア工房

手作りバッグ



YOKOHAMAN

写真・イラスト・立体作品 等



とつかアートプロジェクト

美術・手工芸



虹の会

透明水彩画



大森 洋太郎

切り絵、水彩画、ペン画、木製品

## 4F 練習室

すべて参加無料！各部屋の特性を活かしたミニコンサートや体験を行いました。



《リハーサル室》フラダンス体験

講師：佐々木紀子、鶯尾真弓  
協力：ハマヤ楽器戸塚西口センター



《リハーサル室》ギター・ウクレレ体験コーナー

講師：斎藤学、高慶智行  
協力：ハマヤ楽器戸塚西口センター



《練習室1》ムジカ・アンティカの落語とオペラのちょっといい関係

出演：入船亭小辰（落語）、蛇目泰子（ソプラノ）  
男澤友泰（バリトン）



《練習室2》Spica ライブ

出演：萩原広充(Per)、豊田まり(Vo)、高橋洋介(Gt)



《練習室3》いきいきとした美しい笑顔になるための  
顔ヨガワークショップ

講師：川野恵子



《練習室4》演劇ワークショップ  
<口ぐせから演劇をつくる編>

講師：有吉宣人

“今回初めてさくらプラザに来た”という方も多かったようです。これからも充実したイベントを企画いたしますので、ぜひまた遊びに来てくださいね！”

# とつかストリートライフ春フェス 2019

## 第3回 とつかソングコンテスト

TOTSUKA SONG CONTEST

2019年3月2日(土)  
13:00~17:30 開催  
さくらプラザ・ホール

「とつか」をテーマにした楽曲を持つ、予選を勝ち抜いた個性豊かな8組のアーティストが集合。そして2019年は、戸塚区制80周年!

オープニングは「HAMAYA FUNKY BOYS」の演奏からスタート。今年はエントリー曲と合わせて2曲の演奏となり、盛りだくさんのゲストライブでは昨年のグランプリ受賞者「古山潤一」さん、戸塚密着型シンガーソングライター「kaho\*」さん、戸塚のダンスパーカルユニット「the Firststar」、そして戸塚区制80周年のお祝いに横浜銀蠅の翔さんが登場し、大盛況の中終了しました。

### とつかストリートライフとは?

戸塚区では、活気に満ちた魅力ある街づくりの一環として「とつか音楽の街づくり事業」に取り組んでおり、区民の皆さんに音楽に親しんでいただく機会の提供や音楽活動をしている人へ演奏する場の提供をしています。



とつかストリートライフ運営委員会 委員長 石井 正樹  
エフエム戸塚 顧問 大滝 正雄  
西武東戸塚店 販売部長 伊藤 仁実  
ダンススタジオ UNISTA 代表 HAMMER

戸塚区密着型シンガーソングライター kaho\*  
戸塚区出身ミュージシャン 翔(横浜銀蠅)

### 結果発表!



### オープニング

HAMAYA FUNKY BOYS 「YMCA」

### 出場者(出演順)

- ①Maco's Kitchen(マコズキッチン)  
「Drops」/エントリー曲「Wonderful Destiny」
- ②KAZUYA(カズヤ)  
エントリー曲「ミライ」/「心のままに」
- ③琴紬  
エントリー曲「街がつなぐもの」/「春待ち薔」
- ④COPIOUS  
エントリー曲「とつかで君にあいたい」/「melody life」
- ⑤伊与木一彦  
「不動坂」/エントリー曲「Cherry blossom」
- ⑥moe  
「コドモヒーロー」/エントリー曲「イロ」
- ⑦ammonite  
エントリー曲「戸塚SING」/「夕焼けハイツ」
- ⑧New Party Rule  
エントリー曲「未来はすぐそこに」/「奇跡」
- ゲストライブ  
古山潤一「Happy Baby」/「hachidori」/「この街」  
the Firststar「SUPER NATURAL ENERGY」  
kaho\*「ハレの日」/「ヤギのメイさん」/「花びらのシンフォニー」



### グランプリ 伊与木 一彦

伊与木一彦は皆さんも良くご存知の第1回のグランプリ伊与木一彦さん!審査員全員一致で決定しました。副賞として、「音楽の街とつか テーマソング」、「受賞曲のレコーディング権」他が贈られました。



### エフエム戸塚賞&オーディエンス賞

moe

エフエム戸塚 大滝顧問が選ぶ「エフエム戸塚賞」に選ばれたのは、「moe」。「エフエム戸塚特別番組出演権」が贈られました。そして、来場者の投票数によって決定するオーディエンス賞として「おいしいものとつかブランド詰合せ」が贈られました。

### 西武東戸塚店賞

ammonite

西武東戸塚店の伊藤販売部長が選ぶ「西武東戸塚店賞」に選ばれたのは「ammonite」!「西武東戸塚店特別ライブ開催権」ほかが贈られました。

### ロッキントツカ賞

今回は「該当者なし」という結果でした。

### コラボステージ

the Firststar&kaho\* & HAMMER「未来花」※戸塚区制80周年記念PR動画の

翔(横浜銀蠅) & the Firststar「男の勲章」

### 連携企画:みんなの音楽楽校 Vol.4 [ウクレレ楽器体験]

【協力】一般社団法人ウクレレサポート協会

次回のストリートライフ春フェスは2020年3月に開催予定です。  
皆さん戸塚を音楽で盛り上げませんか?!

# 男は背中で物語る 戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いている  
オヤジ世代を紹介するコーナーです。

其之  
三十六



焼酎いっぱい 石渡酒店の  
石渡智康です。  
戸塚駅より徒歩6分、200円でお好きなお酒を何杯でも試飲できます!

左:芋焼酎「麻佑子スイート」  
右:日本酒がお好きな方に  
お勧めの米焼酎



### 親に逢いに行こう!

#### 焼酎いっぱい 石渡酒店

横浜市戸塚区戸塚町145

秀文堂ビル202号

TEL. 045-435-5983

営業時間: 14:00~20:00

(木曜は19:00まで)

定休日: 日・月・祝

(変更の場合あり)

HP: <http://shochu-ippai.com/>



次号の親仁は…?

### 一酒屋を始めたきっかけを教えてください。

元々は全く違う業種で働いていましたが、10年くらい前、家族旅行で八丈島に行った時におしゃれな酒屋さんがあって、そこで焼酎の美味しさに魅了されたのが全ての始まりです。その後、月日は流れ定年目前になり、子どもも大きくなる程度自由が立ったので2018年9月12日にお店をオープンしました。

### 一お店を始めるにあたって苦労したことありますか?

何よりも、お酒の手配に苦労しました。前職は畑違いの事をやっていましたから、どうやってお酒を手配するのかわからなかったのです。そこで卸売組合の事務所さんに相談をしてスタートしました。

### 一焼酎の魅力はなんですか?

美味しいのはもちろんですが、「焼酎」と一口に言っても種類が多い事でしょうか。飲み方も様々です。また、お酒の瓶もそれぞれ個性豊かなので、それも一つの魅力ですね。飲むだけではなく飾っても楽しめますよ。

### 一焼酎初心者にオススメの焼酎はありますか?

まずは自分が気になったものを試飲し、味わっていた

だきたいです。芋焼酎だったら女性の名前がついた「麻佑子スイート」がお勧めです。焼酎は度数25度が多いですが、こちらは22度なので飲みやすくて女性にもお勧めです。

### 一200円という価格で全部試飲できるのはなぜですか?

私がお店を始める前に色々なお店周りをしていた時もボトルや説明文を読むだけでは味をイメージできなかつたんです。試飲できた方が味もわかり、購入しやすかつた経験もあり、取り入れました。ただ、うちみたいに置いてある商品全部を試飲できるお店は中少ないかもしれませんですね。

### 一後の目標はございますか?

やってみてわかつてきたことが沢山ありますので、もっと工夫をしてお客様のニーズに合った焼酎を取り扱っていく、多くの方に焼酎をお楽しみいただきたいです。まずは気軽にいらしていただいて、気に入ったボトルの焼酎を試飲してみてください。

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します!

TOTSUKA JOURNAL

# 出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を  
鋭意取材中! 詳しくは「戸塚新聞」で検索!

### #20 楽 モダン盆栽で若い人にも盆栽を Bonsai屋 粋 -iki-

今回戸塚新聞の事務所に来て  
いただいたは、弊事務所と同じ  
町内(前田町)で盆栽作りをす  
る小林晶さん。

10年前くらいに、雑誌のpenで  
紹介されていた盆栽の先生を見  
たのがきっかけで、その先生の  
ところに通って盆栽を学び、現在  
は東戸塚を拠点に百貨店な  
どで出品をしています。

戸塚新聞「盆栽」というと、ご年  
配の方の趣味のイメージがあり  
ますよね。

小林さん「はい。なので、若い方

にももっと盆栽に親しんでもら  
えるように、モダンな感じに仕立  
てています。例えばこんな感じ  
で…」

モダンです。こう、くるくるっと  
枝が曲がっていて、そのてっぺ  
んに松らしいトゲトゲの葉が。

戸塚新聞「サイズ感もかわいい  
し、女性受けもしそうですね。」

小林さん「そうですね。よくイ  
メージされる、松の盆栽は大き  
いですし、手入れも大変です。

だからこそ趣味にもなるので  
すが、いきなりはじめるのは大

変ですよね? そこで当店の盆  
栽は手の平サイズなので、管理  
も比較的簡単ですし、どこに置  
いてもいい、インテリアにもなり  
ます。」

戸塚新聞「管理は大変じゃない  
ですか?」

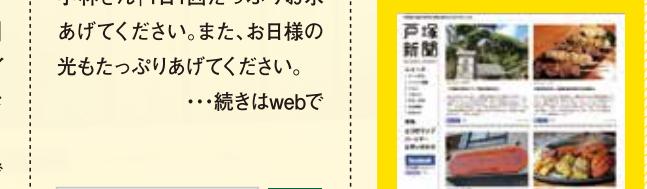
小林さん「1日1回たっぷりお水  
あげてください。また、お日様の  
光もたっぷりあげてください。

…続きはwebで

戸塚新聞 Bonsai 粋 -iki- 植物

検索

Information  
**「戸塚新聞」とは**  
戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索!



今回取材したお店  
Bonsai屋 粋 -iki-

百貨店で出店中  
出店情報はfacebookから  
「bonsai屋 粋 -iki-」

戸塚新聞

検索



# さくらプラザコンサートスケジュール

人形劇団ブーク×さくらプラザ こどもの日スペシャル！

**三びきのやぎのがらがらどん  
いつもちこくのおとこのこ**

5/5(日・祝) 14:00

全席指定 一般 2,500円／こども 1,000円  
親子ペア 3,000円

※赤ちゃんも歓迎！



好評  
発売中

**前橋 汀子 ベートーヴェン  
ヴァイオリン・ソナタシリーズ 全2回**

前橋 汀子(ヴァイオリン)、松本 和将(ピアノ)

【第2回】5/25(土) 14:00

全席指定

一般 3,500円

EX席 2,000円(補助席・見切れ席)



好評  
発売中

親子でハッピー スwing! 童謡JAZZライヴ★★★  
**ROCO こどもじゅず**

ROCO(ヴォーカル・ウクレレ)

木村トモカ(ピアノ)、cheeta(ドラム)

7/20(土) 【第1回】11:00／【第2回】14:30

全席指定 大人 2,000円

こども(3歳～小学生) 500円

親子ペア 2,200円



好評  
発売中

はじめて楽しむ歌舞伎

**「立ち廻り体験講座」  
& 松羽目狂言「棒しばり」**



まもなく  
発売

千川 貴楽、花柳 琴臣、帆之丞 他

9/1(日) 14:30

全席指定 一般 2,800円

ペア 5,000円

学生(高校生以下) 1,000円

Ticket

さくらプラザ先行電話予約  
5/23(木)14:00～ \*窓口販売は翌日9:00から

**【事前講座】 今日からあなたもオペラデビュー！！  
60分で味わうオペラ『カルメン』の魅力**

大山 大輔(ナビゲーター・エスカミーリョ役)

郷家 曜子(カルメン役) 他



まもなく  
発売

8/3(土) 14:00

全席指定 1,200円

Ticket

さくらプラザ先行電話予約  
5/15(水)14:00～ \*窓口販売は翌日9:00から

～台詞付きハイライト上演ピアノ版～

**日本語で味わうオペラ『Carmen』**

郷家 曜子(カルメン)、村上 敏明(ドン・ホセ)

長島 由佳(ミカエラ)、大山 大輔(エスカミーリョ)

巨瀬 励起(ピアニスト)



まもなく  
発売

10/27(日) 14:00

全席指定 一般 3,500円

横浜市民 3,000円／学生 1,500円

EX(2F見切れ席) 1,000円

Ticket

さくらプラザ先行電話予約  
6/12(水)14:00～ \*窓口販売は翌日9:00から

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)  
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ず提示ください。

若林 顕 セルフ・プロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ

**ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》**

『第2期』5/10、7/5、9/20、11/29、2020.1/31

以上すべて(金)各回19:30 若林 顕(ピアノ) 他

全席指定

各回一般 2,500円／学生 1,500円

シーズンシート(5公演セット) 10,000円



好評  
発売中

好評  
発売中

**榎原 大(Pf) & 木村 大(Gt) デュオ・コンサート**

ピアノとギターが奏でるあなたのための音楽

榎原 大(ピアノ)、木村 大(ギター)

6/8(土)15:00

全席指定 一般 3,000円

ペア 5,500円

学生(高校生以下) 1,000円



好評  
発売中

**らららん♪ドレミシリーズ**

第1回 10:45／第2回 12:00 会場:リハーサル室

演奏／亀井博子(打楽器など)、小林えりか(ピアノ)

全席自由 各回 500円(0歳より有料)

Vol.5 0歳から大人まで楽しめるコンサート  
6/26(水) ～雨がふっても気分はハッピー～



※2019年度開催日程については

チラシもしくはHPをご覧ください。

**名曲サロン シリーズ シーズンチケット(4公演セット)  
3,000円** ≈5月16日(木)まで販売

リハーサル室公演 第1回 11:30／第2回 14:30

各回約45分間／全席自由 各回 800円

Vol.19 TRIO KARDIA(トリオカルディア)

5/16(木) ～名曲で綴る新緑の香り～



好評  
発売中

Vol.20 松崎夏美 &マルティン・ヴィドラー

8/22(木) デュオ・コンサート

～日本とチェコの名曲～



Vol.22 6手のためのピアノ連弾

2020. ～ザルツブルクで

2/14(金) ともに学んだピアニストたち～



Vol.21 ホール特別公演

11/14(木) さくらプラザサポートアーティストによる

弦楽アンサンブル



14:00 約90分間／全席指定 1,000円



掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演チケット\*をプレゼント！

\*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

おたより



**編集後記** 新元号「令和」の幕開けですね！ 新緑が美しい5月。新生活も一段落した頃でしょうか？ 社会人になると大きな変化はありませんが、学生時代新しいクラスや先生にドキドキしたことを思い出します。そんな学生さんを応援するためにも、さくらプラザでは学割チケットがある公演も多いんですよぜひお気軽にお越しくださいね。(桑田)



戸塚区民文化センター さくらプラザ



TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502



〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F



<https://www.totsuka.hall-info.jp>



[event@totsuka.hall-info.jp](mailto:event@totsuka.hall-info.jp)

SAKURA  
さくら

Vol.35  
5・6月号

2019.5.1発行